

集合研修 アレルギー相談をテーマにした事例検討会

特定非営利活動法人 アトピッ子地球の子ネットワーク
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207

助成事業の概要

■「アレルギー相談をテーマにした事例検討会」
開催 2015 年 10 月 24 日 (土)、連合会館で開催した。

1. 事例のテーマ：・よくある事例 (共有化、社会化して多くの人に参考にしてもらいたい) / ・困難と感じた事例 (他の落としどころ、対処の仕方があったのではないかなど、相談手法と関わる) / ・多くの人と共有したい事例 (問題性、課題がある、新しい出来事など)。これらを、事例検討会用共通フォーマットにまとめ、患者会等が発表し、参加者による検討を行う。

2. 事例検討会には医師、医療人類学、家族社会学などの研究者が参加。

3. 団体 (NPO 法人京都びいちゃんねっと、NPO 法人千葉アレルギーネットワーク、AS ネット埼玉、甲府フジザクラの会、NPO 法人みれっと、食物アレルギー親と子の会、一般社団法人食物アレルギーフォーラム) / 日本生協連、パルシステム連合会、森永生科学研究所など)

■事例検討会の発表内容や医師・研究者の発言や助言をまとめて報告集を作成する。

事例を社会化することと、各団体内で課題を共有してもらうことを目的に、患者会、医師・研究者、行政、メディアなどに報告集を発送する (500 カ所を予定)。Web 版の公開も予定

事業の成果

1. 団体同士の交流の機会、患者支援のあり方について意見交換する機会となった。

2. 参加団体同士の「相談」の質を問う活動は、団体相互の信頼関係が必要である。

この事例検討会は、団体相互に切磋琢磨する機会となり、結果的に「市民が行う相談活動の質」のボトムアップや、「相談活動の質」の維持に貢献できたと思う。

3. 医師や研究者らとともに、「相談活動」を担う患者団体・NPO・市民活動の社会的役割や意義について議論を重ねることにより、私たちが直面している様々な課題を多角的にとらえることができた。

4. 議論を記録し報告書にまとめたことで、より多くの人に市民活動や相談活動がかかえる課題を多くの人に伝えることができた。事例や課題の共有はネットワークや支援者作りの機会となる。

5. 参加団体それぞれが個性あふれる事業に取り組んでおり、その事業を通して出会った患者家族らの様子や悩みを共有することができた。

成果の広報、公表

・報告書を作成し、医師、研究者、栄養士、保健所、ボランティア活動センター、患者団体、メディア等に配布予定 (本年 5 月～6 月)。

・Web 版の報告書を当法人ホームページに掲載予定 (本年 5 月～6 月)。

■ 今後の展開

来年度も開催できるように、以下の 2 点について働きかけをする

1. 複数の患者団体に呼びかけて、発表内容や共有したい課題の検討をしてもらう。今年、意見交換に参加したが発表しなかった団体に、共有したい課題や事例を寄せてもらう。

オブザーバー参加だった企業の相談窓口の人に呼びかけて、企業の相談事例やアレルギーをめぐる課題を整理して提案してもらう。

2. 開催のための費用ねん出のため、企業協賛や広告をつのる。